

平成30年度 第2回学校関係者評価委員会 議事録

日 時 平成31年3月19日（火）16時20分～17時20分

場 所 長崎医療こども専門学校 4階普通教室

出席者	職名	氏名	所 属 ・ 役 職	関連学科
	委員長	藤田裕紹	有限会社 藤田企画 代表取締役	柔道整復師科
	委 員	安元宏之	医療法人 緑風会 事務長	医療ビジネス科
	委 員	伊東俊祐	社会福祉法人 明星会 明星園 副園長	保育こども科
	委 員	吉田芳男	社会福祉法人 小榎アスカ福祉会 理事長	介護福祉科
	委 員	吉澤秀記	FROM ながさき事業協同組合 理事長	日本語科
	委 員	永田真弥	永田真弥税理士事務所 所長	国際ビジネス科
	委 員	三浦誉洋	社会福祉法人 縁和会 理事長	卒業生
	委 員	久保 賢	長崎県高等技術専門学校 元校長 長崎県産業労働部 若者定着課 産業人材育成班 地域創生人材育成事業担当	地方公共団体
	委 員	岩崎誠一	長崎駅前商店街組合 理事長	地域団体
	事務局	松添邦廣	長崎医療こども専門学校 校長	
	事務局	一ノ瀬泰	長崎医療こども専門学校 本部長	
	事務局	松尾広宣	長崎医療こども専門学校 事務局長	
	事務局	中嶋真司	長崎医療こども専門学校 柔道整復師科	科長
	事務局	山崎美奈子	長崎医療こども専門学校 医療ビジネス科	科長
	事務局	森 俊弘	長崎医療こども専門学校 保育こども科	科長
	事務局	山下 忍	長崎医療こども専門学校 介護福祉科	科長
	事務局	小川美奈子	長崎医療こども専門学校 日本語科	科長
	事務局	松尾健太郎	長崎医療こども専門学校 国際ビジネス科	科長

議 題 1. 開会

2. 議事

- (1) 平成30年度自己評価の確認 資料1
- (2) 平成31年度自己評価について 資料2・資料3
- (3) 平成31年度学校関係者評価委員会の予定 資料5
- (4) 質疑応答
- (5) その他 次回の会議開催について

3. 閉会

議事録 1. 開会

本会議の委員長である松添校長から挨拶をし、議事の進行に入った。

2. 議事 議事進行：藤田委員長

(1) 平成30年度自己評価の確認

事務局：資料1を用いて、平成30年度自己評価について報告書(案)の説明をした。

(2) 平成31年度自己評価について

事務局：資料2～4を用いて平成31年度の自己評価実施要項(案)の説明をした。

○平成30年度の自己評価は文部科学省が平成25年度に取りまとめた「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて、教職員による評価を行った。

○平成31年度の自己評価は、まず自己を学校、学科・部署、教職員の3つのカテゴリーに分ける。また、平成30年度は教職員による評価だけだったが、平成31年度は評価する者を教職員、学生、卒業生、保護者に増やして評価する。

○具体的な評価の方法は次の通り

- ・ 学校全体の自己評価項目の達成及び取組状況
※専修学校における学校評価ガイドライン(文科省)を利用
- ・ 学校全体・学科部署・各人の重点目標の設定
 - ①学校全体の重点目標
 - ②学科・部署ごとの重点目標
 - ③教職員各自の重点目標
- ・ 学生指導が適切になされているかの確認
 - ①授業評価
 - ②学校満足度評価
- ・ 新入生に対し、目標設定と本校に入学した動機の確認
 - ①新入生の目標設定
 - ②本校に入学した動機の確認(新入生からの学校評価)
- ・ 卒業後調査
 - ①早期離職をしていないかの確認
 - ②授業科目・内容への要望
- ・ 保護者からの意見・要望

①新入生の保護者からは学校に対して期待すること

②在校生の保護者からは学校の指導への要望等

○事務局からの説明を受けて、各委員からの質疑等

安元委員：新旧対照表にあるように、本年度より多角的に取り組んでおり、良いと思います。特に質疑はありません。

伊藤委員：学生から評価を取るのには良いことだと思います。また、1年生の最初に目標設定をさせて、2年生と3年生でも経過を見るようにした方がいでしょうね。

吉田委員：学校の満足度評価というのは良いですね。学生が授業以外に学校生活全体について満足しているかどうかを調査するのは、学校全体を良くしていく意味でも良いと思います。

吉澤委員：平成31年度はいろいろな評価に取り組まれるようですので、その結果が出たときに興味があります。
また、学校に対する愛着心や先生が行う授業に対する評価も興味がありますね。

事務局：過去に授業評価を行ったときは、学科ごとに先生の授業方法のランキングをつけたこともあった。
また、アンケートにより教員からの指導方法に問題があることも分かり、普段管理がしづらい部分も見えてきた。

永田委員：自己評価と今回の学校関係者評価の公表はいつ頃までにしなければならないのか。

事務局：職業実践専門課程の基準によると、翌年度の7月までにホームページ等で公開する。

永田委員：新入生の目標設定は、設定した後の確認や目標の修正などを行うフォローが必要だと思います。
また、学校全体の重点目標の中に中途退学者の低減がありますが、年間の退学者はどの程度いるのでしょうか。

事務局：昨年度の中途退学者は少なく、全校生徒合計しても一桁だったが、今年の1年生は多い。年度によって数の違いが出てくる。

三浦委員：私は卒業生としてこの会議に出ており、在学中の事を考えていましたが、入学後にモチベーションが下がる時期があるので、入学時の思いを忘れないように目標設定と学年毎の確認は良いと思います。

また、中途退学者が出たときは、しっかりとした原因分析が必要と思います。

事務局：教職員に対しては、常日頃から学生の問題については早い時期に科長から校長に情報を伝えるように指示している。問題を担任ひとりで抱え込むのではなく、事務局職員も含め全員で対応するようにしている。

岩崎委員：学校満足度調査は留学生も行うのでしょうか。駅前商店街では留学生もアルバイトをしており、私の店でも頑張っていると思います。

事務局：平成31年度は日本人学生のみで計画していますが、今後検討させていただきます。

久保委員：在校生や新入生の評価は学校の内面が良く見えるので取り入れるべきですね。特に卒業生からの調査で在学中に学んでおけば良かった要望が聞けるので実施すべきだと思います。また、早期離職者が出ないような日々の指導が必要でしょうから、先生方にはこれからも頑張ってもらいたいですね。

(3) 平成31年度学校関係者評価委員会の予定

藤田委員長：来年度の学校関係者評価委員会は、資料5の開催要項(案)に基づき進めて参りたいと計画しています。

委員会の開催は、11月に1回目、3月に2回目を計画していますが、開催要項ならびにスケジュール、委員会の実施時期については、この計画でよろしいでしょうか。では、満場一致ということで、開催要項に基づき、委員会を開催します。お手元の資料の(案)を消していただけますか。

(4) 質疑応答 特になし

(5) その他 次回の会議開催について

藤田委員長：では、最後の議案の5次回の会議開催についてですが、予定では11月下旬となっておりますが、日程を決めて良ければこの場で決めたいと思いますがいかがでしょうか。

事務局からは、9月末で前期の自己評価を行い、集計及び報告書作成に時間を要するので、できれば11月25

日月曜日からの週が良いとの事ですので、11月28日
木曜日でいかがでしょうか。

では、来年度の第1回学校関係者評価委員会は11月
28日に開催しますので、よろしくお願いいたします。

3. 閉会

藤田委員長から、各委員に本日の謝辞を述べ閉会した。

以 上